

■■■■■■■ 第 98 号 (2025.3.18) △△△

こんにちは。

あなたやあなたのお客様の商品やサービスが
もっともっと世の中に知られて、
売れていくために大切なもの

「あなたのために『名入れ』を追求する」
マツウラです。

日頃のマツウラの様子がわかる記事を
中心にお伝えしていきます。

* * * * *

◆それでは「となりのマツウラさん」の各記事をお楽しみください。

目次

【1】 * * * 2025 年、ビデオテープの危機！今すぐデジタル化を！ * * *

【2】 * * * 今週のマツウラ SNS 新着 * * *

【1】 * * * 2025 年、ビデオテープの危機！今すぐデジタル化を！ * * *

電子機器が正常に動かなくなるのでは？と恐れられた 2000 年問題 (Y2K)、
団塊の世代が 60 歳の定年を迎えた 2007 年問題など、
これまで様々な「〇〇年問題」が話題になりましたが、
今年は「2025 年問題」が注目されています。

今回の「2025 年問題」とは、大切な思い出が詰まった
ビデオテープの劣化が進み、再生が困難になる問題を指します。
1980 年代から 90 年代にかけて広く普及したビデオテープは、
多くの家庭や図書館で今も大切に保管されていますが、
その劣化は確実に進行しており、貴重な映像が失われる危機に直面しています。

【ビデオテープ劣化の 3 大要因】

・経年劣化

ビデオテープの寿命は一般的に 20～30 年と言われており、
時間の経過とともに磁気特性が失われ、映像や音声の品質が低下します。

・カビの発生

湿気の多い場所での保管は、カビ発生の原因となります。

カビはテープ表面に付着し、映像や音声を劣化させます。

特に、高温多湿な日本では注意が必要です。

・物理的な摩耗

再生や巻き戻しを繰り返すことで、テープは摩耗し劣化します。

特に、頻繁に再生したテープは劣化が早い傾向があります。

ビデオデッキの国内生産は 2016 年に終了しており、

修理部品の供給も 2025 年頃に停止する見込みです。

つまり、再生機器の入手が困難になり、

劣化したテープの再生はますます難しくなることが予想されます。

ビデオテープの劣化を防ぐには、デジタル化が最も有効な手段です。

デジタルデータに変換することで、劣化の心配なく長期保存が可能になります。

ビデオテープのデジタル化は、専門業者に依頼するのがおすすめです。

専用機器を使用するため、高画質・高音質でのデジタル化が可能です。

「2025 年になったらすぐに再生できなくなる」というわけではありません。

しかし、数年以内に見られなくなる可能性は非常に高いです。

実はマツウラでは、ビデオテープのデジタル化サービスを承っております。

ご家庭に眠っている大切な思い出を、DVD やパソコンデータとして蘇らせませんか？

【2】***今週のマツウラ SNS 新着***

Google ビジネス プロフィールの最新投稿をご紹介します。

3 月 19 日はカメラ発明記念日です。

1839 年のこの日フランスのルイ・マンデ・ダゲールが写真機を発明しました。

当時は長時間露光させるため長い間カメラの前でじっとしている必要がありました。

1 枚撮るのに 10 分～30 分かかったということですが、当時は大人気だったようです。

今ではスマホなどのカメラ性能が格段に良くなり

カメラを持っている人も減ってきているようですが、

逆にインスタントカメラなどのフィルムカメラの需要が増えてきているそうです。

デジタルにはデジタルの、フィルムにはフィルムの良さというものもありますね！

(株) マツウラの Google ビジネス プロフィールには、
「こよみ」にまつわる「どこかで役にたつ！」
かもしれない雑学記事を掲載しております！
是非ご覧ください！

→<https://www.google.com/search?client=firefox-b-d&q=%E3%83%9E%E3%83%84%E3%82%A6%E3%83%A9%E3%80%80%E4%BB%99%E5%8F%B0#lpstate=pid:CIHM0ogKEICAgICRhtzydA>

過去のメルマガはホームページ

「お知らせ」よりご覧いただけます↓↓↓

<https://www.sendai-matsuura.co.jp/backnumber.html>

◆このメールマガジンは当社社員が
名刺交換させていただいた皆様に向けて、
最近のマツウラの様子や
今後の印刷・カレンダーなどの
動向などをお伝えすべく、
月2回程度配信させていただく
予定でお送りいたしております。

◇メール配信停止、配信先メールアドレスの
変更をご希望の方、
又は同じ配信が複数届いている方は
大変ご面倒をおかけしますが
下記よりご登録をお願い致します。

配信停止をご希望の方

<https://bit.ly/3KhB1nx>

メールアドレス変更をご希望の方

<https://bit.ly/3dSD6dL>

◇記事内容へのお問い合わせ・その他ご意見は

info@sendai-matsuura.co.jp

宛てにお寄せください。

◇ホームページはこちら

<https://www.sendai-matsuura.co.jp/>

発行：株式会社マツウラ

〒984-0001 宮城県仙台市若林区鶴代町5-7-5

TEL：022-232-4413

FAX：022-232-4468

編集：松浦月子・阿部寛